

MAUI 島日食観測顛末記

東京理科大学日食観測隊 MAUI 島隊 木川 健、佐江子、遼(6才)、咲奈(3才)
< どうして MAUI 島に行くことになったのか >

① 我々家族 4 人は東京理科大学日食観測隊の本隊とは別行動をとり、プライベート旅行で Maui 島へ行きました。我々は 1986 年にハレー彗星を見るために Hawaii 島に行ったことがあり、それも今回大半のツアーチームが集結した Waikoroa Villedge に 5 日間ほど滞在したのですが、そのときの経験からこの島の早朝の天候の安定性に疑問を持っていました。また限界線上での日食観測価値があるのではないかと考え皆既帯がかすめる Maui 島に行くことに決めました。

< 観測地点の選定 >

② MAUI 島では島の東南端をかすめるように皆既帯の北限線が通るので、当初皆既帯内での観測を考えたのですが、この地区は 4DW のような車でないと行けない場所だということが分り、自力で皆既帯内に入って行く計画は断念せざるおえなくなりました。現地との手紙のやり取りの結果、Haleakala 山頂(標高約 3,300m、最大食分 99.8%) の Hawaii 大学太陽観測所が敷地を提供してくれそうだということになりました。その後観測所からは、「他の専門家で一杯になってしまうので敷地の提供はできない」という断りの手紙が来たのですが、3,000m の高度があれば平地に雲があってもその上に出られると考え、観測地点を Haleakala 山頂に決めました。

< 観測テーマと機材 >

- ①. 望遠レンズによるクローズアップ撮影 (レフレックスニッコール f=1000mm F8)
- ②. ビデオによる食分経過 (特に最大食分時の現象) の撮影 (ビクター GRS-77 / SVHS-C)
- ③. 広角レンズによる本影錐及び情景の撮影 (ニッコール f=28mm F2.8)

< 旅行の日程と日食の様子 >

7月9日 NW-010 19:00 成田発/Honolulu 到着後 HA-650 に乗り継ぎ 11:24 Maui 着

7月11日 日食当日の行動記録

- 2:00 バスでホテルを出発。天候は曇り、ポツポツ小雨が降っている。
- 5:00 Haleakala 山頂の駐車場に到着。雨と霧がひどいのでビジターセンタに避難。
- 6:00 周囲は明るくなってきたが、依然として雨と霧がひどく、視界は全くきかない。
- 7:20 バスのドライバーが下山を決断。『下山しながら晴れ間を探そう』という。
- 7:30 食分最大の時刻。外は急激に暗くなってきた。依然として雨は止まない。
- 8:00 下山途中、標高 4,000ft の位置でようやく雲間から復円しつつある太陽を見ること

ができた。結局我々が欠けた太陽を見ることができたのはこのときだけだった。

@ MAUI島ではどこも雲のために皆既や最大食分を見ることはできなかったようです。夕刊は、『Clouds Eclipse Eclipse』『Kaupo:Total Eclipse was a Total Bust』『Haleakala:Scientists frustrated』という具合に、島内各地とも日食を見ることができなかつことを伝えていました。結局我々はMaui全島を覆った雲の中に閉じ込められていたこととなります。